OWNER'S MANUAL

Wave music system

取扱説明書

この度は Wave music system をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておく事をおすすめいたします。

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

目　次

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
		乾電池を使用する機器のみ ●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
		ボタン電池を使用する機器のみ ●この機器に使用しているボタン電池を取り外した場合は、小さなお子様がボタン電池をあやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告	⊘	●この機器の後部にある、通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。 この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。 テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
	⚠	●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
	⊘	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。 ●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	⊘	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

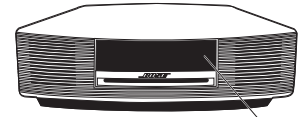
⚠ 注意	⊘	●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	⚠	●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。 電池を使用する機器のみ ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ＋ と － の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	プラグを抜く	●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	⚠	●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。 ●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。 ※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
	⊘	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	プラグを抜く	●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	⊘	●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⚠	●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

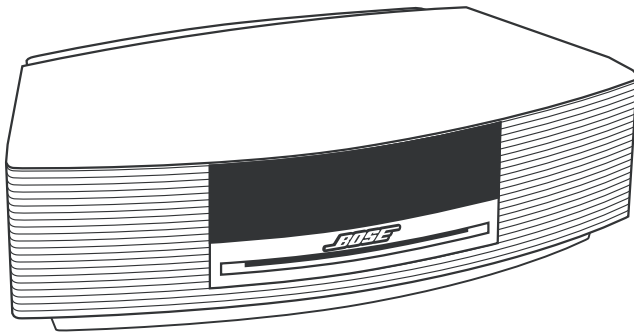
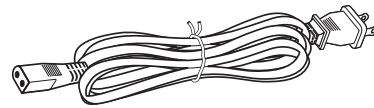
あなたが放送やCD、テープ、又はビデオディスクや市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本体のお手入れについて

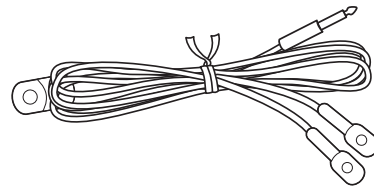
通常は、柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。シンナー・ベンジン・アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり、外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

開梱時のご注意

※表示部の保護シートは設置が完了するまではがさないようにしておきます。

付属品を確認してください

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

Wave music system 1台

電源コード 1本

リモコン

※付属のリチウムボタン電池は、動作チェック用として既にリモコンに装着されています。消耗していた場合は、新品電池と交換の上ご使用ください。

T型FMアンテナ 1本

音質チェック用CD 1枚

便利な機能

●お気に入りのラジオ放送やCDの曲でお目覚め

ラジオ番組や自分の好きなCDの曲を目覚ましのアラームにすることができます。

●MP3ミュージックファイルが再生できる

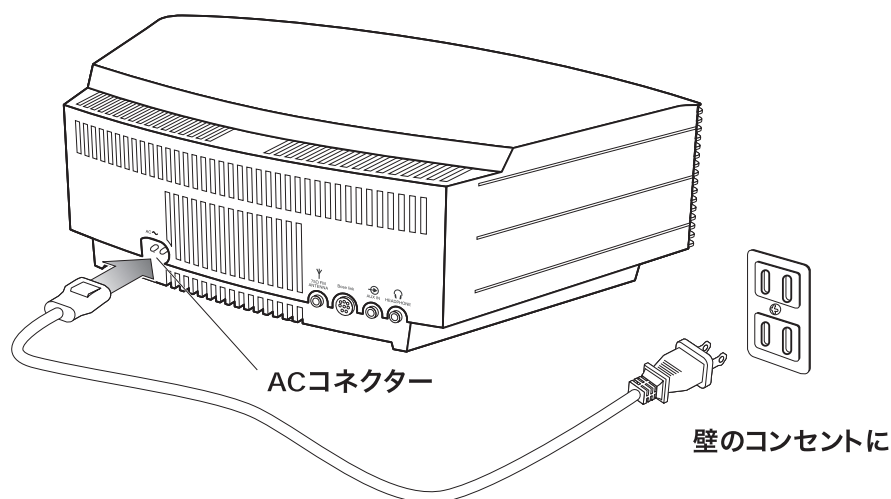
Wave music system はCD-R、CD-RWに音楽を圧縮して記録したMP3ミュージックファイルを再生することができます。MP3ミュージックファイルにすると1枚のCD-R/RWに音楽CD 8～10枚もの曲を記録できますが、詳しくはパソコンの操作マニュアルをご覧ください。

●セットアップメニューでより自分好みの設定に

お買い上げの時の設定は、ほとんどのお客様にそのまま使っていただくのに便利なようにセットしてあります。ただし、セットアップメニューを開いて自分の使い方に合わせて設定できます。

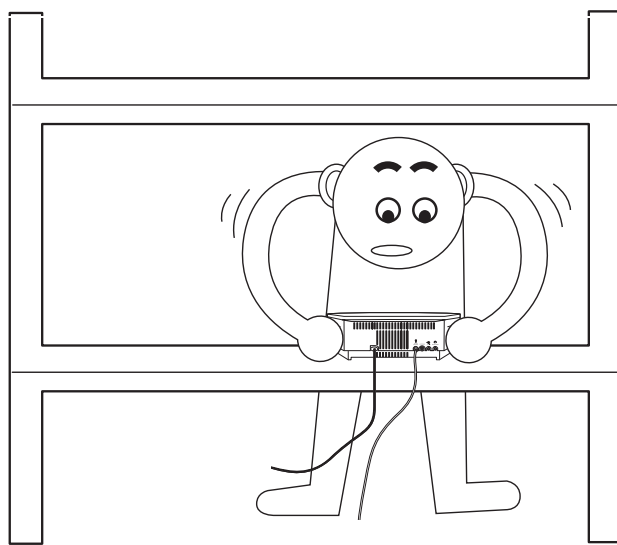
・スヌーズ時間の変更
・表示部の明るさの調整
・CDが終わったら自動的にラジオに切り替わる"引き続き再生"のON/OFF
・24時間、12時間表示の切り替え
・省エネモードのON/OFF
・工場出荷時の設定へ戻す"リセット"

電源コードの接続

電源プラグを電源コンセントにしっかりと奥まで確実に差し込んでください。

⚠ **注意**　FMアンテナは電源コードの中に納められています。FM受信を最良の状態にするため、電源コードは完全にのばしてご使用ください。

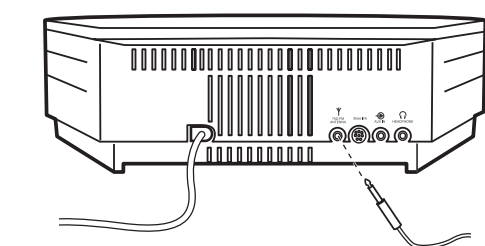
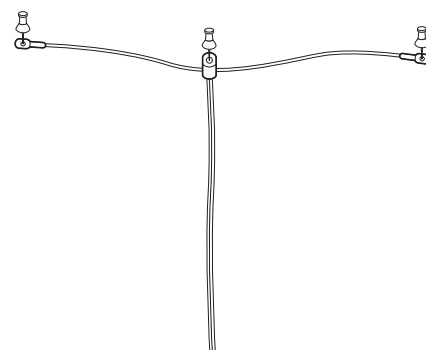
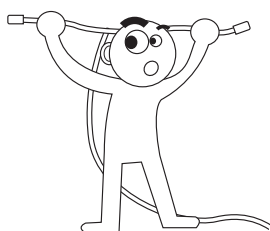
FM/AM放送の快適な受信について（アンテナの接続）

AM放送のアンテナは内蔵されています

AM 放送を受信するにはアンテナが重要な役割を果たします。内蔵されている AM バーアンテナは、比較的ノイズに対して有利ですが、できるだけ本体とノイズ源（パソコン、蛍光灯、マイコンを内蔵している電気機器等）から 50cm 以上遠ざけて設置するようにしてください。また、本体の向きをいろいろ試して、感度がよくなる方向に向けて置いてください。

FM/AM放送の快適な受信について（アンテナの接続）

FM放送のアンテナは、本体電源コードです

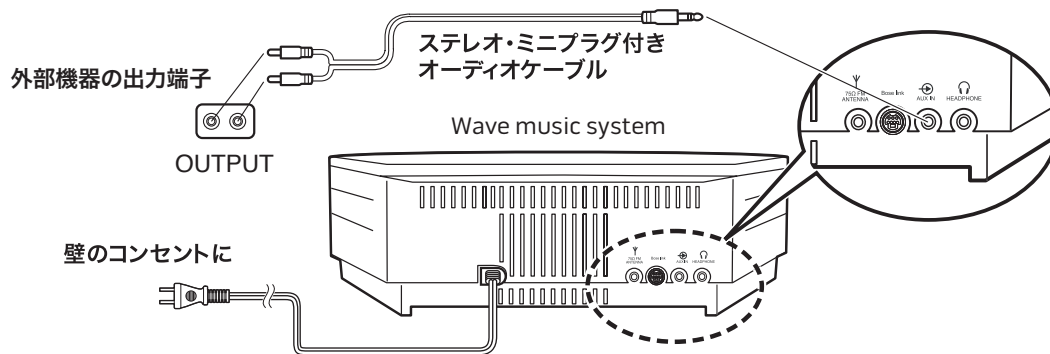
FM放送受信用のアンテナは電源コードの中に収められています。電源コードは、丸めたままにしないで必ず伸ばしてご使用ください。都市部や、都市近郊などの比較的電波状況の良い地域では、外部アンテナを接続しなくてもFM放送が十分受信できます。外部アンテナを使用したほうがいいか、使用しなくてもいいかは、ラジカセ等を使って調べることができます。大体の目安として、ラジカセ等でFM放送を受信して、受信状況がよい場合は、外部アンテナを使用しなくても、電源コードのアンテナでFM放送の受信が可能です。もしラジカセ等を使って受信状況がよくない場合は、外部アンテナの接続が必要になります。

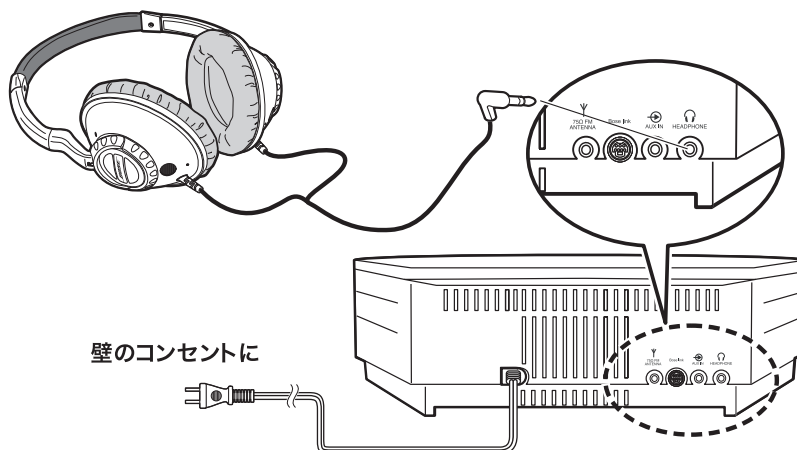
電源コードのアンテナで受信状況がよくない場合は、Wave music systemに付属されているT型アンテナを使用します。T型アンテナは、押しピンなどで壁などに固定して使用します。丸めたままにしておいたり、垂らしたままにしないで、必ずT字型にのばして、複数の放送局の受信状態が最も良くなるように、方向や設置位置を決めてください。FMアンテナはAMアンテナ以上に方向性が重要です。

また、「シュワー」、「ジュワジュワ」というノイズが聞こえる場合はマルチパス障害が発生している恐れがあります。このとき、アンテナ自身の位置と方向を少しずつ変えると、改善できる場合があります。外部アンテナを使用しない場合でも、本体の電源コードの位置を移動すると、受信状況が改善される場合があります。

それでも感度が不十分な場合は、お近くの電気店にご相談になって、アンテナ・ブースター（電波の増幅機）等をご使用になることをおすすめします。ブースターをご使用になるときは、ブースターの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

外部の機器との接続

AUXに外部機器をつないでください

背面のAUX INに市販のオーディオピンケーブルを使って、外部の機器の出力端子と接続します。
※本体の電源をONにしても、外部の機器は連動しません。

ヘッドホンの使い方

ヘッドホンを背面のφ3.5mmヘッドホンジャックに差し込むと本体からの音が止まります。ただし、アラーム音はヘッドホンを差し込んでいても本体から鳴ります。夜ヘッドホンで楽しみながら寝てしまっても安心です。

⚠ 注意　ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を痛める場合があります。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

設置場所について

●安全上の設置時のご注意

・Wave music system は、しっかりとしたテーブルなど、平坦な場所に設置してご使用ください。

・Wave music systemを金属板の上に設置しないようにしてください。ラジオの受信感度が低下することがあります。

・電子レンジ、コンピューター、ビデオデッキ、テレビなどの電子機器の近くに設置しないようにしてください。電子機器からのノイズでラジオの受信感度が低下することがあります。

・湿気やほこりの多いところには設置しないようにしてください。内部に湿気やほこりが入り込むと火災や故障の原因となります。

・Wave music system は内部から、多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。

・ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性あります。事前にご確認のうえご使用ください。

・付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

●より良い音を楽しむための設置時のポイント

・Wave music systemを設置する場合は、壁から離しすぎないほうが(約50cm以内が目安)、豊かな低音が得られます。

・Wave music system を聴くときは、Wave music system に対して正面で聴くほうが、より良い音響効果が得られます。

⚠ 注意

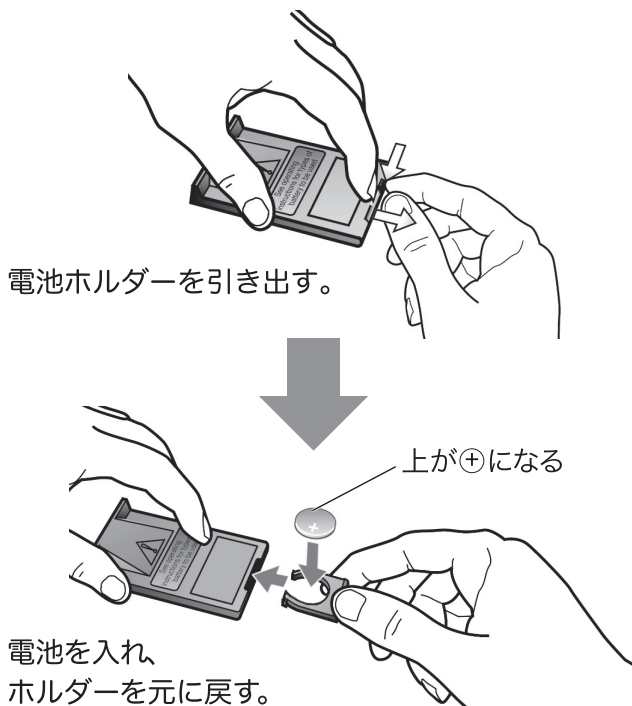
このWave music system は、防磁型になっています。通常のスピーカーはブラウン管式のテレビやモニターに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、Wave music systemはテレビやモニターなどへの近接設置が可能です。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、本機をさらにテレビから離してご使用ください。

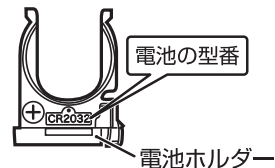
リモコンの使い方

電池の入れかた

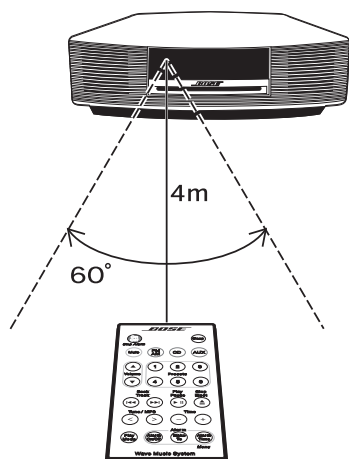
電池ホルダーを引き出す。

上が⊕になる

電池を入れ、
ホルダーを元に戻す。

電池を交換する場合は、電池の型番にご注意ください。

使用電池
3Vリチウムボタン電池
CR2032またはDL2032

⚠ 注意

リモコン用の電池は正しい取り扱いを行わない場合、火災を起こしたり、化学物質で皮膚をおかされる結果となることがあります。幼児には触れさせないように十分ご注意ください。
また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。交換の際には指定の電池のみをご使用ください。異なる製品を使用した場合、火災や爆発の原因となることがあります。

リモコンの動作範囲

リモコンの電池が消耗すると、リモコンの動作範囲が狭まってきて効きが悪くなってきます。このような症状がでてきたら、リモコンの電池を交換してください。電池を交換する場合、電池の型番にご注意ください。違うタイプのものをご使用になると、動かないばかりでなく機器の故障の原因となりますので、必ず同じ型番の電池をご使用ください。

使用電池：3Vリチウムボタン電池
CR2032またはDL2032

⚠ 注意

・リモコンと本体受光部の間に障害があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
・赤外線を放射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると誤動作することがあります。また逆に、赤外線で操作する他の機器を使用時にこのリモコンを使用すると、その機器を誤動作させることがあります。
・直射日光や、蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコンで操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

リモコンボタンの名称と使い方

On/Offボタン

本体の電源をON/OFFするときに使います（**16**ページ）。
アラームを止めるときにも使用します（**28**ページ）。

Mute

Mute（ミュート）ボタン

一時的に消音します。解除するにはもう一度このボタンを押すか、ボリューム ▲ ボタンを押します（**16**ページ）。

Volume（ボリューム）ボタン

音量を調節するときに使用します（**16**ページ）。

Seek
Track

Seek/Track（シーク/トラック）ボタン

・CD、MP3CDを聴いているとき（21ページ）

CD、MP3CDのトラックやファイルを選ぶときに使用します。

・ラジオを聴いているとき（24ページ）

1回押すと十分受信できる強さの電波の放送局を自動的に選局します。

Tune / MP3

Tune/MP3（チューン/MP3）ボタン

・CD、MP3CDを聴いているとき（21ページ）

押し続けると早送り、早戻しができます。
MP3CDの場合は、小刻みに押すと、フォルダーを選ぶことができます。

・ラジオを聴いているとき（24ページ）

小刻みに押すか、あるいは押し続けてお好きな放送局を選びます。

・システムセットアップ時（29ページ）

セットアップ項目を選ぶときに使用します。

Play Mode

Play Mode（プレイモード）ボタン

・CD、MP3CDを聴いているとき（23ページ）

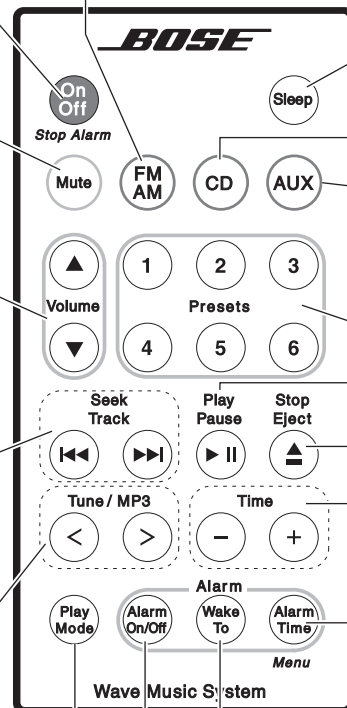
CD、MP3CDに収録されている曲をランダム再生、あるいは繰り返し再生を選びます。

・ラジオを聴いているとき（25ページ）

トークラジオモードのOn/Offをします。

FM AM

FM/AMボタン

ラジオを選択します（**17**ページ）。
押すたびにFM、AMが切り替わります（**24**ページ）。

Alarm On/Off

Alarm On/Off（アラームOn/Off）ボタン

アラーム（目覚まし）をセットしたり解除するときに使用します（**27**ページ）。

Wake To

Wake To（ウェイクトゥ）ボタン

約2秒以上押し続けると、現在聴いている音源をアラーム音として選択できます（**26**ページ）。

Sleep

Sleep（スリープ）ボタン

スリープタイマーを働かせます（**17**ページ）。
スヌーズ機能を使うときにも使用します（**28**ページ）。

CD

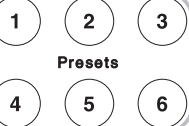
CDボタン

CDを選択して再生を始めます（**17**ページ）。

AUX

AUX（外部入力切替）ボタン

AUX INに接続された機器を聴くときにこのボタンを押して入力を切り替えます。

1 2 3 Presets 4 5 6

Presets（プリセット）ボタン

ラジオの放送局を登録したり、登録した放送局を選ぶときに使用します（**25**ページ）。

Play
Pause

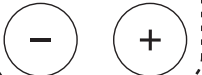
CD再生ボタン

CDの再生/一時停止をするときに使用します（**20**ページ）。

Stop
Eject

Stop/Eject（ストップ/イジェクト）ボタン

1回押すとCD、MP3CDの再生が停止します。もう一度押すとディスクが本体から出てきます（**21**ページ）。

Time − +

Time（タイム）ボタン

現在時刻（**14**ページ）、アラーム時刻（**27**ページ）の設定のときに使用します。
セットアップメニューの内容の変更を行います。

Alarm
Time

Alarm Time/Menu（アラームタイム/メニュー）ボタン

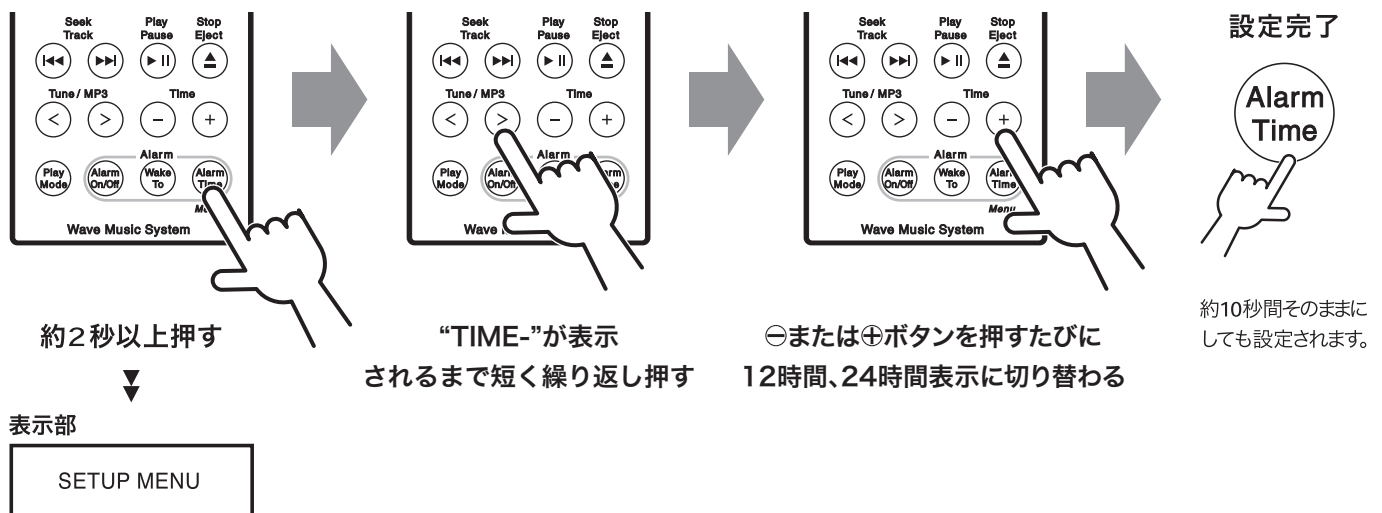
アラーム時刻をセットするときに押します（**26**ページ）。
約2秒以上押し続けて、セットアップメニューを呼び出すときに使用します。

現在時刻の設定

数字を変えた（時刻に設定した）5秒後に時刻が設定されます。
※操作中、5秒以上何もしないと最後に表示された時刻に設定されます。

表示部の設定

12・24時間表示の切り替えについて

本機は、12時間表示か24時間表示のどちらかお好きな表示方法が選べます。お好きな方をお選びください。

表示部の設定

表示部の明るさの微調整

表示部は、周囲が明るい時は明るく表示するノーマルと、暗くなると薄暗く表示するディムの切り替えを自動的に行います。ノーマル時とディム時の明るさはそれぞれ別々に調節できます。

●ノーマル時の設定

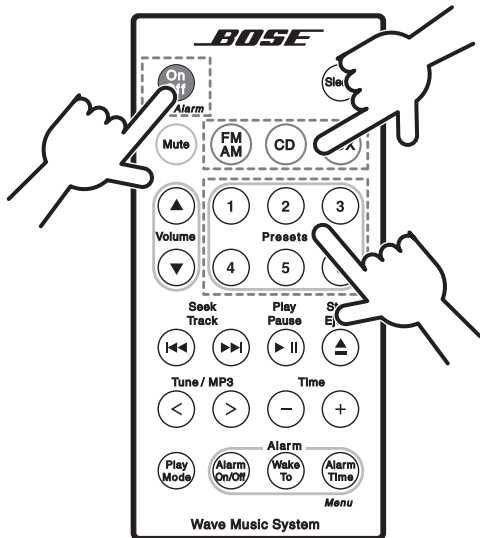
調整は周囲が明るいときに、表示部を見ながら行ってください。

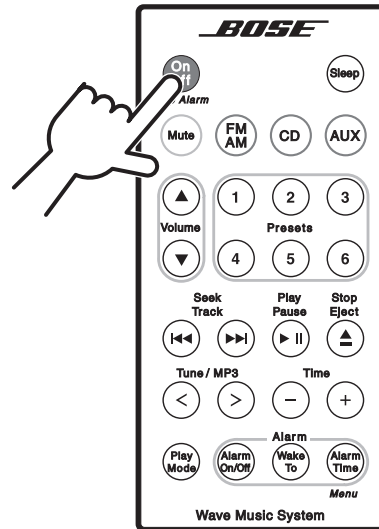
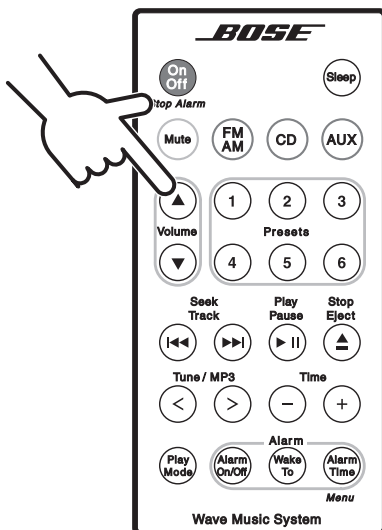
●ディム時の設定

表示部が薄暗くなるので調整は周囲が暗いときに、表示部を見ながら行ってください。

基本の操作

電源のON/OFFのしかた

電源の入れ方

の部分のどのボタンを押しても電源が入ります。

電源の切り方

音量調節のしかた

最小レベル：0
最大レベル：99

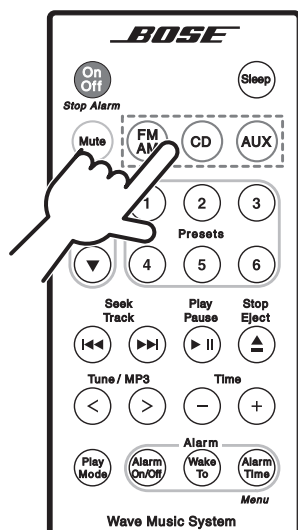
※電源が入っていないときでもあらかじめ音量の調節ができます（10〜75の範囲）。

●一時的に音を消す（ミュート）

※リモコンの Mute（ミュート）ボタンを押すと一時的に音が止まります。解除するにはもう一度同じボタンを押すか、ボリューム▲ボタンを押します。ミュート中にボリューム▼ボタンを押して音量を下げておくこともできます。

基本の操作

音源（FM/AM/CD/AUX）の選択

聴きたい音源（FM/AM/CD/AUX）のボタンを押します。

※AUXに接続されている外部機器を聴く場合は、必ず外部機器の電源を入れて音源を再生しておいてください。本体の AUX ボタンを押しても外部機器の電源は入りません。

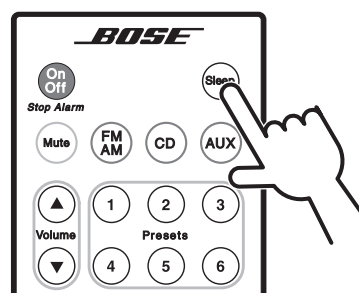
スリープタイマー

音楽などを聴きながら寝ても、一定時間後に自動的に音源を切ることができます。

●スリープの設定のしかた

押すたびに表示が切り替わる

10分間隔で10〜90分まで設定できます。

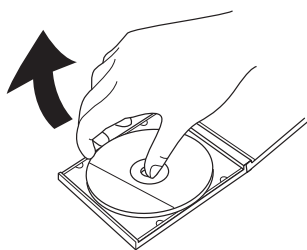
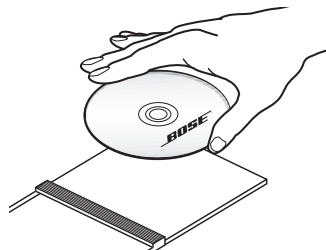
●スリープの解除のしかた

“SLEEP-OFF” が表示されるまで短く繰り返し押します。

ディスクの取り扱いについて

●結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるディスクからの信号読み取りができず、動作しないことがあります。このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれ正常に動作するようになります

●ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。
ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください。

ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

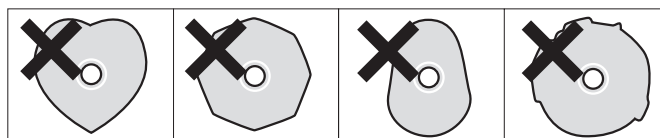
・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

・再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

・ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ディスクは、2枚以上重ねて入れたり、続けて入れたり、ディスク以外のものを入れないでください。故障の原因になります。

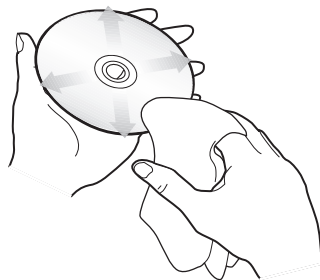
・市販のディスクスタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

・8cmCDを挿入すると再生されないばかりか取り出しが出来なくなる場合があります。また、シングルCD用アダプターを装着したCDも故障の原因となるため、使用しないでください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面を拭くときは必ずディスク専用のクリーナーを使用して右の図のように拭いてください。

※ディスクは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用すると、ディスクの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

ディスク保管上の注意

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

●直射日光の当たる場所。

●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。

●車の中などの高温になる場所。

●投光照明機などの発熱物の近くの場所。

●極端に寒い場所。

●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。

●屋外や直接水のかかるところ。

> ⚠ **注意** ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

● 再生対応メディア…CD/CD-R/CD-RW

※CD-R／CD-RWディスクの取り扱いについて

・録音に使用したCDレコーダーやCD-R／CD-RWディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

・CD-R／CD-RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。

● 再生対応フォーマット…CD-DA（オーディオ CD）、MP3CD

※MP3について

・本機で再生可能なMP3ファイルは記録時のビットレート64kbps以上、サンプリング周波数32kHz以上です。
　推奨値：ビットレート128kbps以上、サンプリング周波数44.1kHZです。

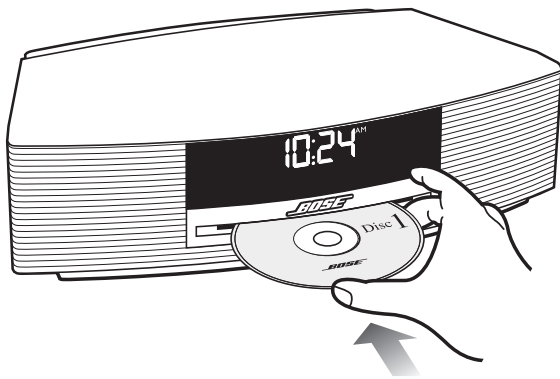
・全てのトラックは、ディスクアットワンス（シングルセッション）で書き込まれている必要があります。

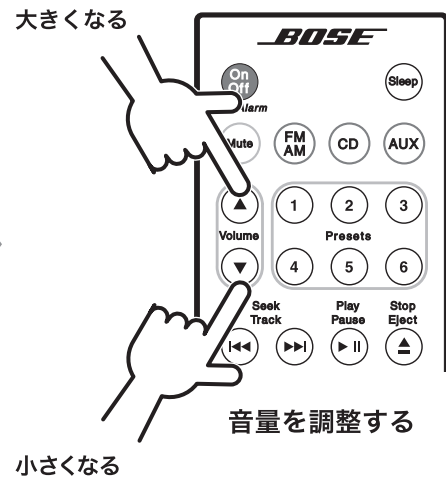
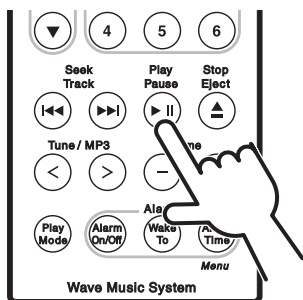
・ディスク・フォーマットは、ISO9660に準拠してください。

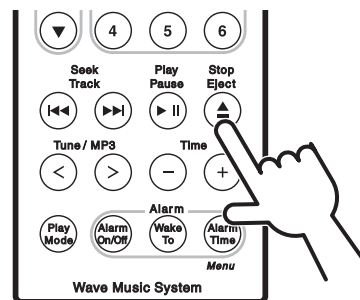
・それぞれのファイル名に、“.mp3” の拡張子が付いていて、拡張子以外に “ . ” を使わないでください。

CD(コンパクトディスク)を聴いてみましょう

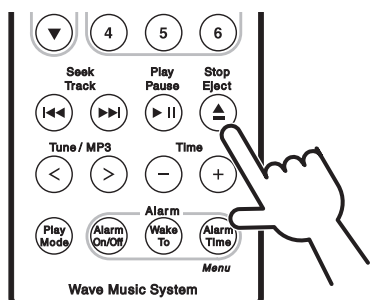
CD、MP3CD関連の表示内容

CD、MP3CDを演奏してみましょう

ディスクを1/3程差し込むと自動的にディスクが引き込まれて、再生が始まる。
※ディスクはレーベル面を上にして挿入してください。

音量を調整する

●一時停止(ポーズ)するときは

解除するときは…もう一度押します。

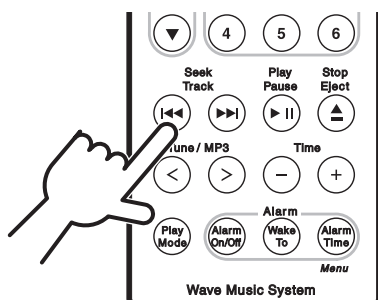
●再生をやめるには

※ディスクを取り出さない限り前回再生を止めた近辺から再生を始めます。(リジューム再生)

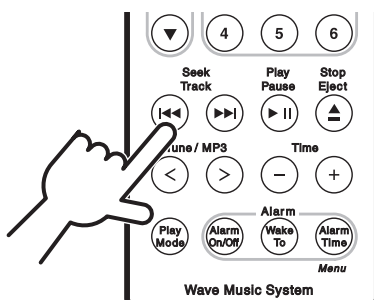
CD（コンパクトディスク）を聴いてみましょう

●ディスクを取り出すには

停止中にもう一度押すとディスクが取り出せます。

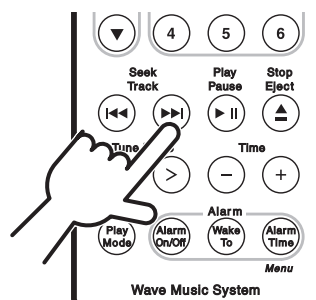
※CDがとび出たまま取り忘れても、10秒後に自動的に再び取り込み、CDにキズや埃がつくことを防ぎます。

聴きたい曲を選ぶとき

再生中の曲の先頭へ

短く1回押す

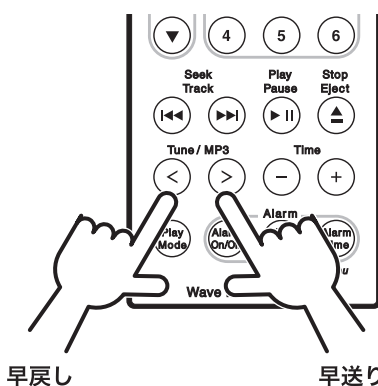
ひとつ前の曲へ

短く2回押す

※CDの1曲目の場合は、CDの最後の曲を選ぶことができます。

次の曲へ

短く1回押す

※CDの最後の曲のときは、CDの1曲目を選ぶことができます。

曲の中の聴きたい箇所をさがすには

聴きたい箇所で指を離す

※MP3CDの場合、押し続けると早送り、早戻しになり、短く押すとフォルダーの選択になります。

●ポーズ（一時停止）状態のとき

ポーズ（一時停止）中に、この動作を行うと音を出さずに聴きたい箇所をさがすことができます。この場合、表示パネルの時間を見ながら、聴きたい箇所をさがしてください。

CD（コンパクトディスク）を聴いてみましょう

MP3CDについて

MP3CDは、1枚のディスクに音楽CD8～10枚分もの曲を記録することができるため、聴きたい曲を探すことが大変になります。そのため何曲かを1つの入れ物（フォルダー）に入れてそのフォルダーごとに整理して曲を探しやすくすることができます。Wave music system もフォルダーを選ぶことができますので簡単に聴きたい曲を選ぶことができます。本機ではMP3CDファイルの再生中、ファイルに情報がある場合、アーティスト、曲名を表示部に表示します（日本語には対応していません）。アーティスト、曲名を表示しなおすには、再生中に CD ボタンを押します。

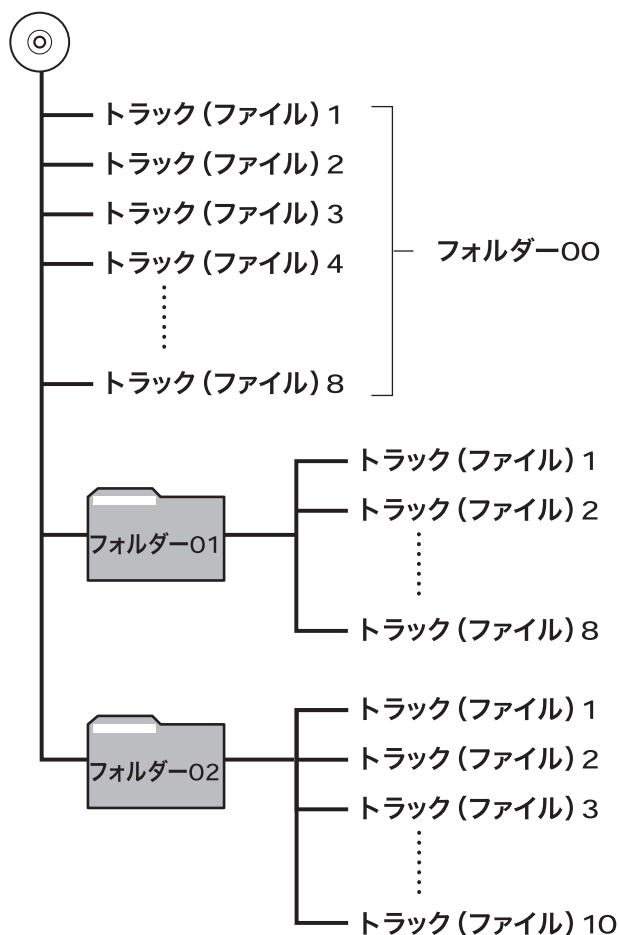
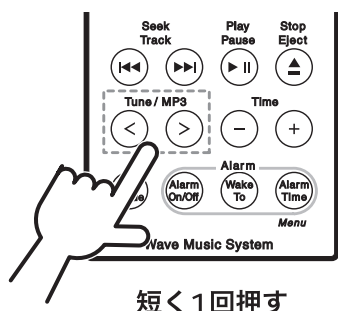
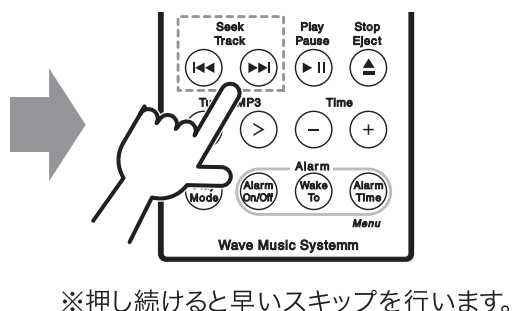
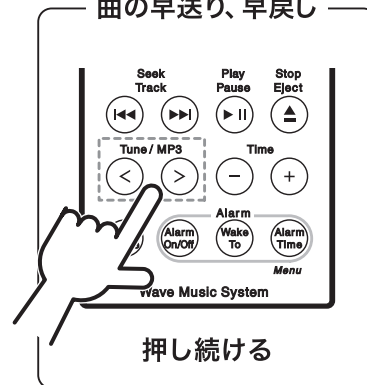
トラック（ファイル）1
トラック（ファイル）2
トラック（ファイル）3
トラック（ファイル）4
トラック（ファイル）8
フォルダー00

CD 10:24 AM
00 TRK 6
フォルダー番号

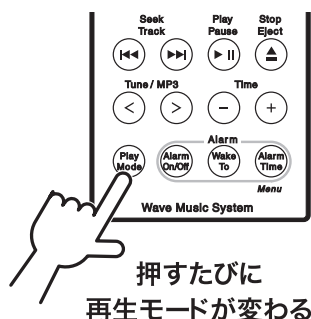
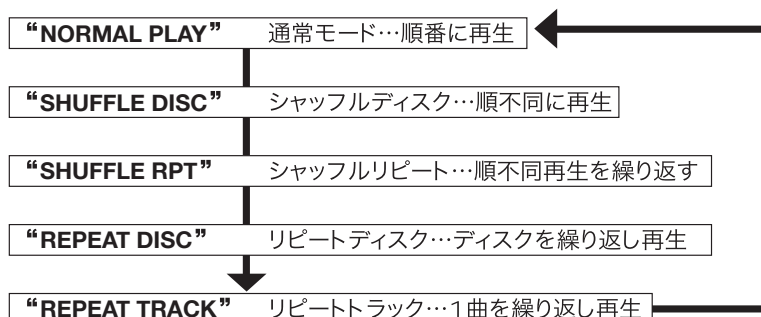
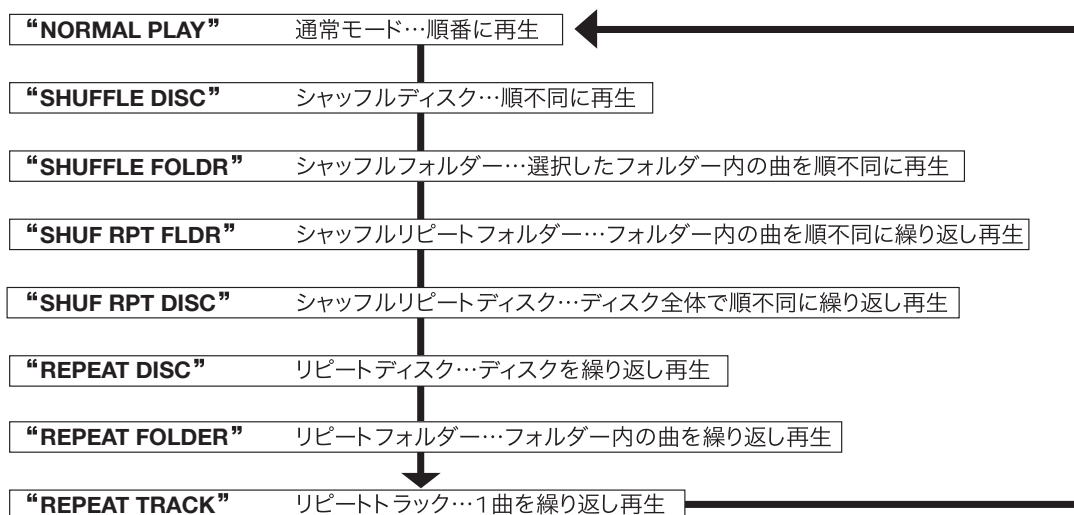
フォルダー01
トラック（ファイル）1
トラック（ファイル）2
トラック（ファイル）8

CD 10:24 AM
01 TRK 3

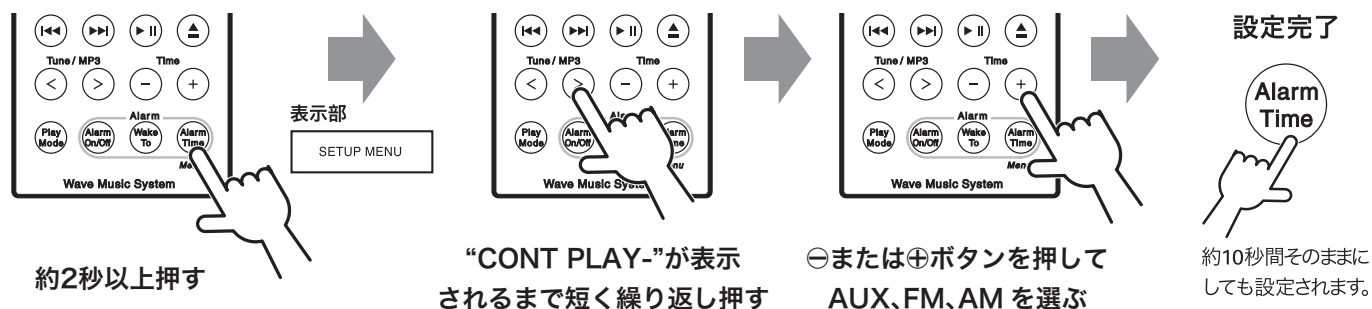
フォルダー02
トラック（ファイル）1
トラック（ファイル）2
トラック（ファイル）3
トラック（ファイル）10

CD 10:24 AM
02 TRK 8

●選曲の方法

CD(コンパクトディスク)を聴いてみましょう

シャッフル(順不同)、リピート(繰り返し)再生について

●CDの場合

●MP3CDの場合

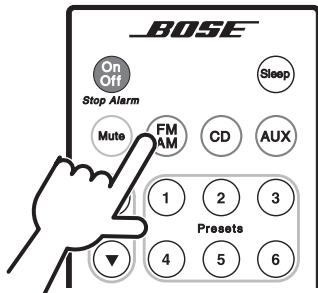
再生終了後に他の音源に切り替える(自動連続再生)

CD、MP3CDの再生が終了すると、自動的に他の音源(AUX、FM、AM)に切り替えて音楽などを続けて楽しむことができます。(30ページ参照)

※AUXを選んだ場合、あらかじめAUX入力に信号を入力しておく必要があります。

ラジオを聴いてみましょう

ラジオの聴き方

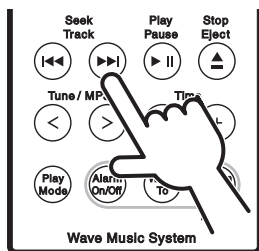
押すたびにFM、AMが切り替わる

放送局の周波数

ラジオ関連の表示内容

●例えばFM放送を受信しているとき

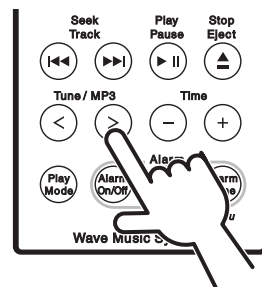
FM放送局が選ばれている　現在時刻

プリセット番号　放送局の周波数

放送局の選局のしかた

●自動受信

⏮または⏭ボタンを
短く1回押す

※十分受信できる強さの電波の放送局を、自動的に選局します。

●手動受信

＜または＞ボタンを
短く小刻みに押す

※自動受信で選局できない放送局を受信するときに行います。

⚠ 注意

- AM受信の場合、内蔵のAMアンテナを使用します。本体の向きを変え、受信感度を調節してください。
- FM受信の場合、FMアンテナは、本体の電源コードに内蔵されています。電源コードを動かして、受信感度を調節してください。内蔵アンテナで満足な受信感度が得られない場合は、外部アンテナを接続すると感度が改善されることがあります。

放送局の登録（放送局のプリセット）

●放送局の登録（放送局のプリセット）のしかた

AM、FMとも各6局ずつ放送局を登録（プリセット）することができます。

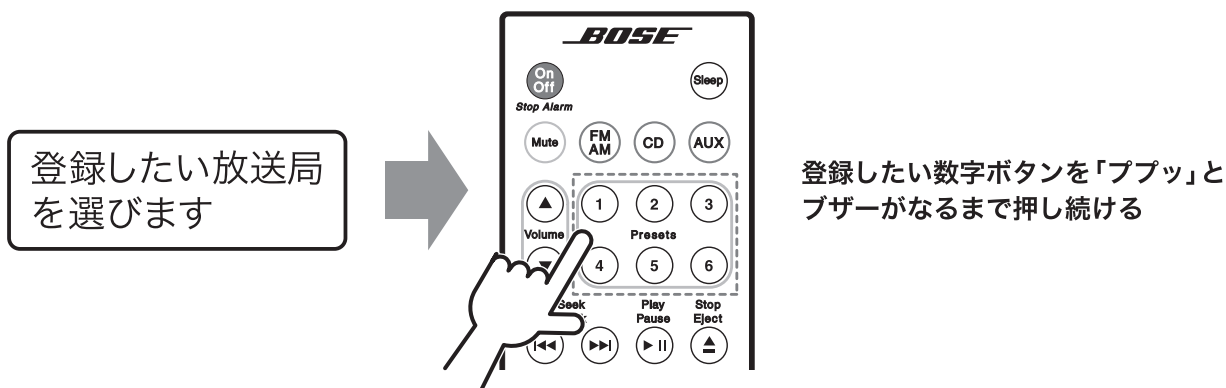
登録したい放送局を選びます

登録したい数字ボタンを「ププッ」とブザーがなるまで押し続ける

●登録した放送局の呼び出しかた

短く押す

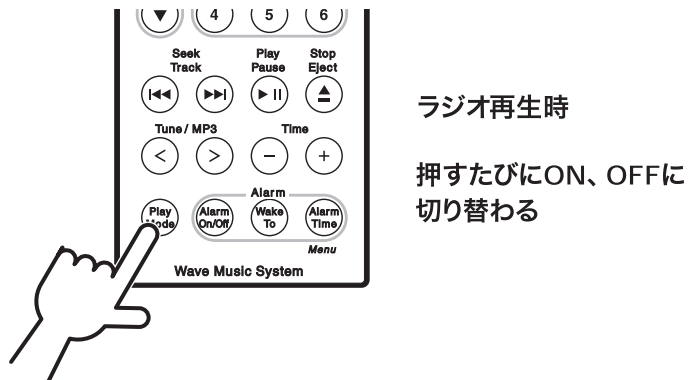
注意

押し続けると現在聴いている放送局が、押した番号に上書きされますのでご注意ください。

その他の機能

●トークラジオモードについて

低音を誇張したラジオ番組などで、トーク番組やニュース番組の男性アナウンサーの声がモゴモゴはっきりしない場合があります。新しく搭載されたトークラジオモードをONにすることによって、低音を誇張された番組のアナウンサーの声を聞き取りやすくします。

ラジオ再生時

押すたびにON、OFFに切り替わる

アラーム(目覚まし)機能について

アラーム(目覚まし)の設定

電源が入っていない場合は、設定した時刻に電源が入り指定した音源を再生し、電源が入っている場合は、その時刻になると指定した音源に切り替えて再生します。

●アラーム音の種類の選択と音量の設定

※AUXはアラーム音源として選べません。
ラジオかCD、MP3CDのどれかを選びます。

・ラジオの場合

聴きたい放送局を
選んで再生する

※24～25ページ参照

音量をきめる

※アラームで設定可能な最小
ボリュームレベルは10です。

「ププッ」とブザー音が
するまで押す

・CD、MP3CDのお気に入りの曲を選ぶ場合

CD、MP3CDの
聴きたい曲を再生する。
※21ページ参照。
※このとき**「シャッフル(順不同)、リピート(繰り返し)再生について」**(23ページ)なども設定しておきます。

音量をきめる

※アラームで設定可能な最小
ボリュームレベルは10です。

「ププッ」とブザー音が
するまで押す

CD、MP3CDのディスクの終わりの曲まで再生した場合、自動連続再生(23ページ)をONにしていなくても、停止せずに自動的に最後に聴いていたFM放送局に切り替えてアラーム音として再生します。

アラーム(目覚まし)機能について

●アラーム時刻の設定

短く1回押す

時刻の設定

FM放送局が選ばれている

アラーム時刻

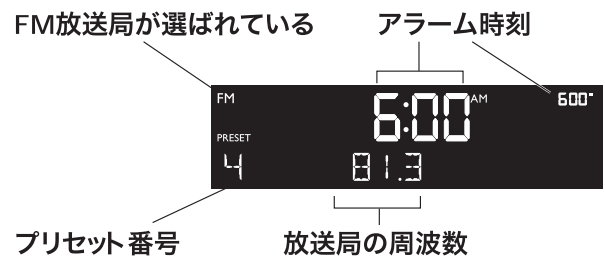
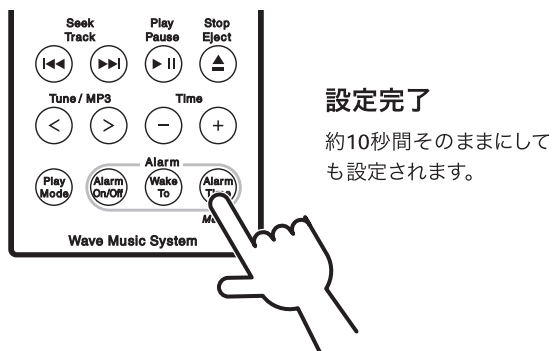
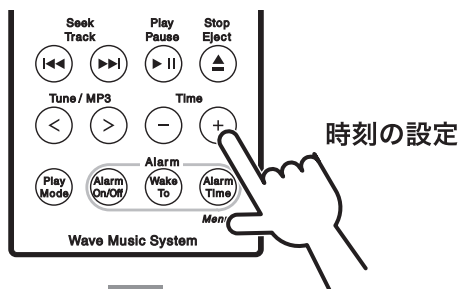
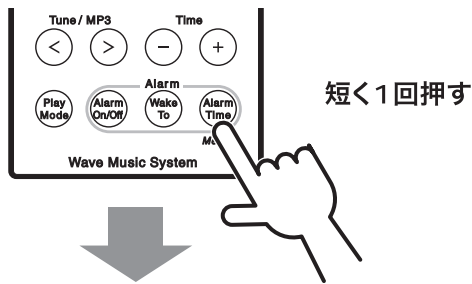
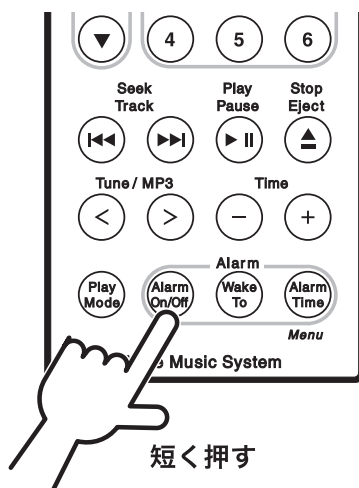
プリセット番号

放送局の周波数

設定完了

約10秒間そのままにしても設定されます。

現在時刻

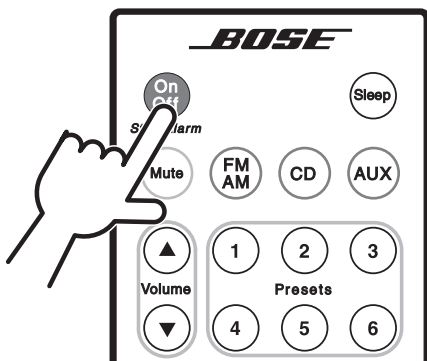
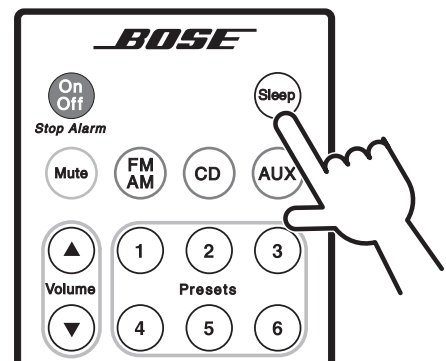
アラーム時刻

アラーム(目覚まし)設定の解除

アラーム(目覚まし)機能について

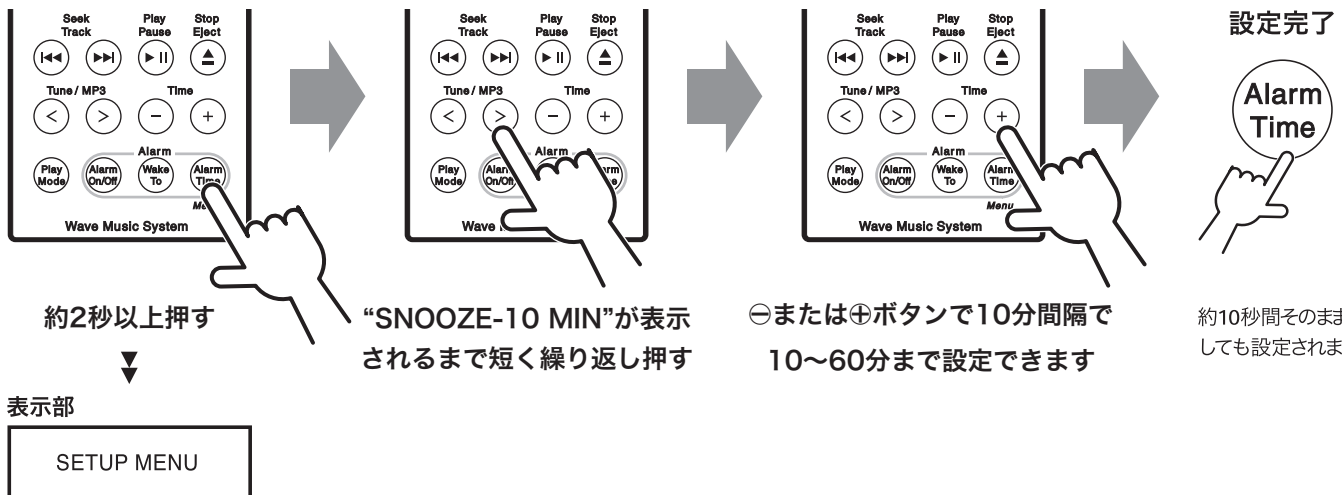
アラーム(目覚まし)を止める

●アラーム(目覚まし)を止める

※アラームの設定は解除されず、毎日、自動的に繰り返されます。
※アラームを止めない場合は、60分間鳴り続けます。

●スヌーズを使う

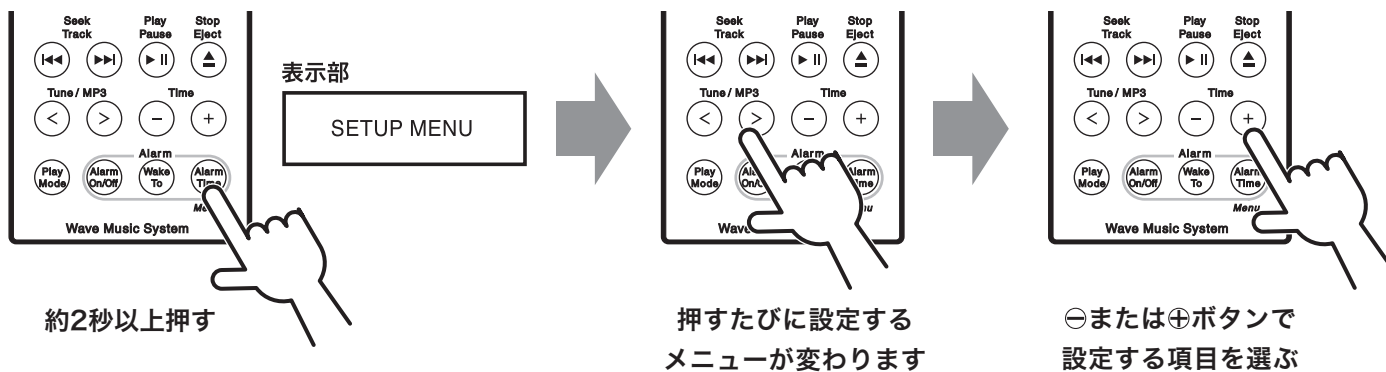
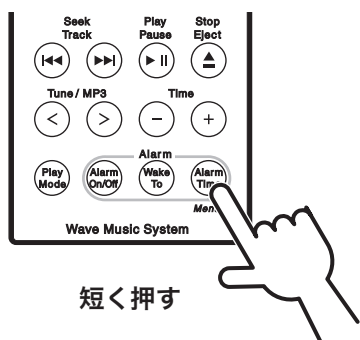
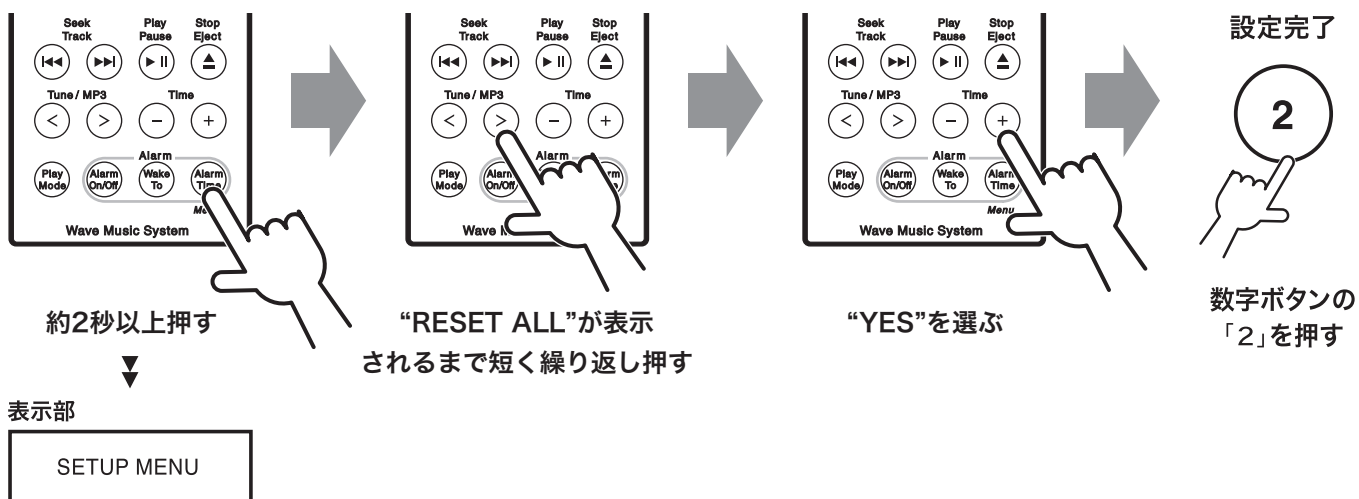
アラームが鳴っているときに、Sleepボタンを押すと、あらかじめ設定されたスヌーズ時間(特に設定されていない場合は初期設定の10分間)経過後に再びアラームが鳴りはじめます。スヌーズは何度でも繰り返し行えます。

アラームが鳴っているときに押す

アラームが鳴っているときに押す

●スヌーズ時間変更

停電になったり、電源が抜けてしまった場合

本機は、停電時やACコンセントから電源プラグが外れている時はアラームは鳴りませんが、約48時間、内部メモリーを保持し、また、時計も動作しています。48時間を越えて電源を供給しなかった場合は、現在時刻の設定からやり直してください。

システムセットアップメニューについて

通常、本機のシステムは標準的な設定をして工場から出荷していますが、お客様の使い方に合わせて設定を変更することができます。設定が変更出来る内容は「**システムセットアップ内容一覧**」(30ページ)をご覧ください。

システムセットアップメニューを表示する

システムセットアップメニューを決定するには

工場出荷時の設定へ戻すには

システムセットアップメニューについて

システムセットアップメニュー内容一覧

システム設定	表示部	初期設定	選択範囲	内容
スヌーズ時間設定	SNOOZE-	10MIN	10MIN/20MIN/ 30MIN/40MIN/ 50MIN/60MIN	スヌーズ時間を10分間単位で設定可能。
連続再生	CONT PLAY-	NO	NO/AUX/FM/AM	CD演奏終了後に連続して演奏するソースを選択できます。
時間表示形式	TIME-	12HOUR	12HOUR/24HOUR	時計表示を24時間/12時間に切り替える事ができます。
表示部照度レベル （通常時）	BRIGHT HI -	12	（8～15）	周囲が明るい時の表示部の照度を8段階の中から選択できます。
表示部照度レベル （ディマー時）	BRIGHT LO -	4	（1～8）	周囲が暗い時の表示部の照度を8段階の中から選択できます。
Bose link設定※	現在使用せず（設定を変更しても何も変わりません）			
省エネモード	LOW POWER	OFF	ON/OFF	LOW POWERをONにすると電源を切ったのち、約30分後に表示部が消灯し、省エネモードになります。消灯時、リモコンを押すと、表示部が点灯しますが、約30分後再び消灯します。
システム初期設定	RESET ALL -	NO	NO/YES	工場出荷時の初期設定に戻します。

※現在日本においては使用しません。

故障かな？と思ったら

問　題	解　決　方　法
本体が機能しない	・電源コードがしっかりとコンセントに差し込まれているか確認してください。
音がしない	・音量を上げます。 ・リモコンの Mute ボタンを押してミュートを解除します。 ・CDが正しくセットされているかを確認してください。 ・AUXに接続されている外部機器の接続を確認してください。 ・AUX IN端子に接続されている外部機器を聴きたい場合はAUXを選択してください。 ・AUX IN端子に接続されている外部機器の電源をオンにしてください。
リモコンが効いたり 効かなかったりする 又は全く効かない	・リモコンの電池の極性が正しくセットされているか確認してください。 ・必要に応じて電池を交換してください。 ・リモコンを本体に近づけて操作してください。 ・照明や日光による影響がないか、レンズが汚れていたり埃がついたりしていないかを確認してください。 ・場所を変えて操作してください。
AM受信が悪い	・本体の向きを変えながら受信感度の良いところを探してください。 ・本体をテレビ、冷蔵庫、蛍光灯、ハロゲンランプ、調光器等の電気ノイズを発生するものから離してください。 ・AM放送の電波が弱い地域の可能性があります。
FM受信が悪い	・電源コードにFMアンテナが内蔵されているので、電源コードをできるだけまっすぐ伸ばしてください。 ・電源コードを動かして受信感度の良いところを探してください。 ・それでも受信が改善されない場合は外部アンテナが必要になります。
CDが作動しない	・表示部に再生／ポーズマークが点灯しているか確認してください。 ・マークが点滅しているときはCDがポーズ（一時停止）状態なので、Play/Pause ▶II ボタンを押してポーズ（一時停止）を解除してください。 ・CDが正しくセットされているか確認してください。 ・CDが汚れているか埃がついている可能性があります。19ページを参照しながらCDをクリーニングしてください。 ・CDが破損している可能性があります。別のCDで再生してみてください。 ・本機ではDVDディスクは再生できません。
CDが出てこない	・一度電源プラグをコンセントから抜いて、少なくとも30秒経ってから再びコンセントへ差し込みなおしてださい。
突然音が鳴りだす	・アラーム（目覚まし）が設定されている可能性があります。27ページを参照しながらアラーム（目覚まし）設定を解除してください。
表示部に何も表示されない	・30ページの省エネモードの設定がONになっている場合、電源が切れると約30分後に表示部が消灯します。このときリモコンのボタンを押すと表示部が点灯します。 ・電源が正しくつながれているか確認します。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター

お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

仕　様

システム構成	CDプレーヤー/AM・FMチューナー内蔵一体型パーソナルオーディオシステム
FM受信周波数	76.0〜90.0MHz（100kHzステップ）
AM受信周波数	531〜1629kHz（9kHzステップ）
外部入力	アナログ音声入力1系統（φ3.5mmステレオミニジャック）
外部出力	ヘッドホン端子（φ3.5mmステレオミニジャック）
再生対応メディア	CD/CD-R/CD-RW
再生対応フォーマット	CDDA、MP3 CD （ビットレート64kbps、サンプリング周波数32kHz以上、128kbps以上/44.1kHz推奨） MP3 CDについて ・全てのトラックは、ディスクアットワンス（シングルセッション）で書き込まれていること。 ・ディスク・フォーマットは、ISO9660に準処していること。 ・それぞれのファイルに、".mp3" の拡張子が付いていて、拡張子以外に " . " を使っていないこと。
電源電圧	AC100V 50/60Hz
最大消費電力	60W
待機電力	3.5W（省エネモード時1W以下）
外形寸法	368（W）×106（H）×219（D）mm
質量	3.9kg
付属品	赤外線リモコン、電源コード、T型FMアンテナ、音質チェック用CD

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社　http://www.bose.co.jp/
〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷YTビル

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1317-S
12・01 (B)